



下田での生活

静岡県弁護士会 可児 望

1. 自己紹介

私は、可児望（かに のぞみ）と申します。修習期は66期です。平成26年1月から1年間静岡総合法律事務所で養成を受けた後、法テラス静岡法律事務所にて2年10か月、長崎県にある法テラス平戸法律事務所にて3年3か月勤務し、令和3年2月から法テラス下田法律事務所にて勤務しました。そして現在、静岡県下田市で約1年半勤務しています。足掛け4年10か月ほどを、偏在地域で働いています。

2. 下田市について

下田市は静岡県の伊豆半島南東部にあり、人口は20,300人ほどです。江戸時代にペリー艦隊が黒船で来日し、日米和親条約により即時開国がされたことでも有名です。主要産業は観光業と漁業です。市内中心部に伊豆急下田駅があり、東京駅から下田市までの所要時間が特急で約2時間半のため、新鮮な魚介類、温泉や美しい海、砂浜を求めて、県内外から多くの旅行者が訪れます。

3. 管内（賀茂地区）の状況

伊豆半島の南部にある一市五町（右上から時計回りに、東伊豆町・河津町・下田市・南伊豆町・松崎町・西伊豆町。賀茂地区と呼ばれています）が静岡地方裁判所下田支部の管轄です。同支部には裁判官が1名常駐しており、簡裁・地裁・家裁の全ての事件を担当します。管内人口は令和4年7月1日現在59,725人です。通常管内には5名弁護士がいます（現在下田ひまわり基金法律事務所の弁護士さんが引継ぎ中のため、管内の弁護士は6名となっています。）から、11,945人に1人弁護士がいるという計算になります。

この数字からお分かりのとおり、下田市は司法過



疎地ではなくなっています。しかし、ひまわり基金法律事務所の存在が不可欠ですし、法テラス下田法律事務所も弁護士2名体制となっています。その大きな理由が、賀茂地区の成年後見等事件の多さにあります。

賀茂地区では、成年後見等事件が多く、また専門職後見人等が必要な事件が多いという特性があります。その理由の一つは、高齢化率です。賀茂地区は、一市五町全てが静岡県内の高齢化率ワースト10に入っています。西伊豆町は県内高齢化率が1位（51.8%）で、下田市も県内の高齢化率が9位（42.6%）です。もう一つの理由は、金銭管理を頼める親族が近隣にいない高齢者が多いことです。この背景には、進学や就職を機に子らが賀茂地区外に出て行き、賀茂地区に住む高齢の両親に頼れる親族がいなくなってしまう世帯が多いことや、退職後に他の地域から温暖で自然豊かな賀茂地区の別荘地に転居する世帯が多いことがあります。

令和3年、静岡家庭裁判所管内で選任された成年後見人等事件において、弁護士が成年後見人等に選任された事件は全体の約23%でしたが、下田支部では全体の約58%に上りました。下田市に事務所がある弁護士は皆、15～25件位成年後見等事件を担当しています。社会福祉協議会が法人後見受任をしていますが、それでもなお、専門職後見人不足が続いています。

4. 業務内容

(1) 法律相談

高齢化率が高い地域ですから、高齢者からの相談が多いです。ご本人に代わって支援者（社会福祉協議会の職員や精神科病院の相談員等）が予約の電話をくださることも多々あります。弊事務所は3階で階段しかないため、足腰が悪い方から法律相談の申し込みがあった場合は、全て出張相談で対応しています。極力自宅での相談は避け、役場や社会福祉協議会の会議室等をお借りしたり、入院中の病院にお伺いしたりして相談を受けるようにしています。

現在賀茂地区の女性弁護士は私一人なので、女性弁護士をご希望の方の相談は、積極的に受けるようにしています。相談相手が同性であることで、相談に前向きになれたり、少し安心して相談できたりするのであれば、嬉しいです。また女性の成年被後見人等から、同性の成年被後見人を希望されることもあります。極力希望に沿えるよう対応しますが、法テラスは転勤があり、後任が同性とは限らないため、必ずしもご期待に沿えないことがあります。

(2) 刑事事件関係

管内の留置施設は下田警察署1つです。下田市内の弁護士5名で、下田警察署に逮捕・勾留される被疑者の当番弁護・被疑者国選弁護を担当しています。2日ずつ交代で担当することとなっているので、当番日が終わると9日後に次の当番日がきます。また約3週間に1回のペースで、土日のどちらかが当番日となります。早期接見を実現するため、3週間に1日は、土日に外出・外泊制限がかかります。この制限が、時に辛く感じることもあります。

下田警察署に逮捕・勾留される事件でも、裁判

員裁判事件など、静岡地裁沼津支部に起訴される事件があります。静岡地裁沼津支部に起訴された被告人は、現在沼津拘置支所が建替え中のため静岡拘置所に移送されます。また少年事件は静岡家裁沼津支部に家裁送致されます。これらの事件では、接見のために静岡市へ行き、裁判・審判のために沼津市へ行くことになります。静岡市までは自動車で片道2時間半、沼津市までは自動車で片道2時間がかかります。いずれも天城峠を越える経路なので、運転には気を使います。

5. 下田での生活

田舎で働くことのメリットの一つに、通勤時間の短さがあります。私は、災害危険区域外に住みたかったことなどから、下田市街地から少し離れたところに住んでいますが、通勤時間は車で約10分です。満員電車に乗らなくて良く、待ち時間がないので快適です。

家を出て少し車を走らせれば、透明度の高い海や白い砂浜をはじめとした景勝地、温泉が沢山あります。夜は満天の星空を見られます。

下田といえば金目鯛漁獲量日本一。金目鯛をはじめとする新鮮な魚介類はとても美味です。また賀茂地区は柑橘類や苺の栽培が盛んで、ニューサマーオレンジをはじめ、様々な種類の柑橘類が手に入ります。

私は旅行や食べ歩き、御朱印集めが趣味なので、伊豆半島や県東部の景勝地・観光地を見て回ったり、B級グルメを食べたり、寺社を訪ねて御朱印を集めたりして、楽しく休日を過ごしています。平戸にいたときは、九州全県をまわり、景勝地や各地の名物を堪能しました。

縁もゆかりもない土地での仕事は大変なこともありますが、楽しみも多いです。住めば都とはまさにその通りだなどしみじみ思いながら日々働いています。



竜宮窟から田牛（とうじ）海水浴場



細野高原



白浜神社の鳥居